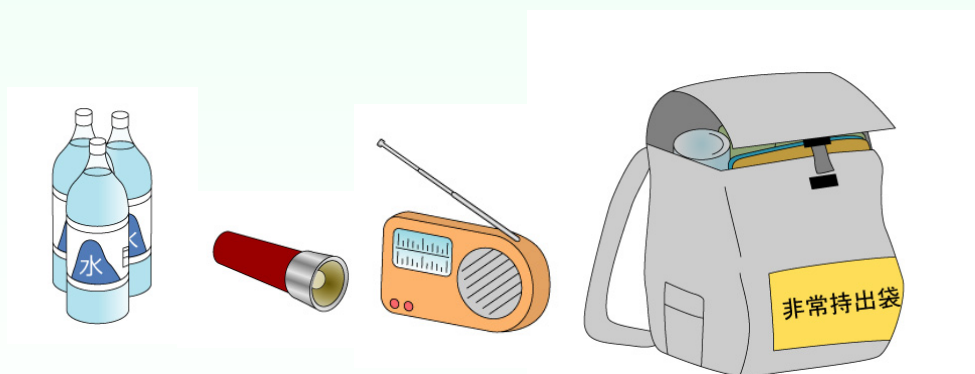


下増田地区防災マニュアル (暫定版)

「地域ぐるみの防災体制」
自分たちの地域は自分たちで守る

ひもを通して目立つところにおきましょう
家族で定期的に確認しましょう



名取市・下増田地区

目 次

1. はじめに -----	P 1
2. 下増田地区について -----	P 1
3. 下増田地区の過去の災害について -----	P 2
4. 下増田地区の災害対応計画 -----	P 3
5. 下増田地区の災害予防計画 -----	P 6
6. 避難所の開設・運営への協力について -----	P 8
下増田地区防災マップ【全域図】 -----	P 9
下増田地区防災マップ【拡大図】 -----	P 1 0
我が家の災害対応計画 -----	P 1 1
下増田地区の避難場所 -----	P 1 2
災害時の連絡先 -----	P 1 2

1 はじめに

東日本大震災では、これまで経験したことのない津波により、多くの命が失われました。名取市では、東日本大震災の教訓を踏まえて、平成 25 年 12 月に自分の命は自分で守ることを基本とした防災・減災への取り組みを示した「名取市民防災マニュアル」を作成し、全世帯に配布しましたが、各地区の地形や居住状況など、地域の実情に応じた防災対策を行うことも重要であるため、地区別の防災マニュアルづくりに取り組みました。

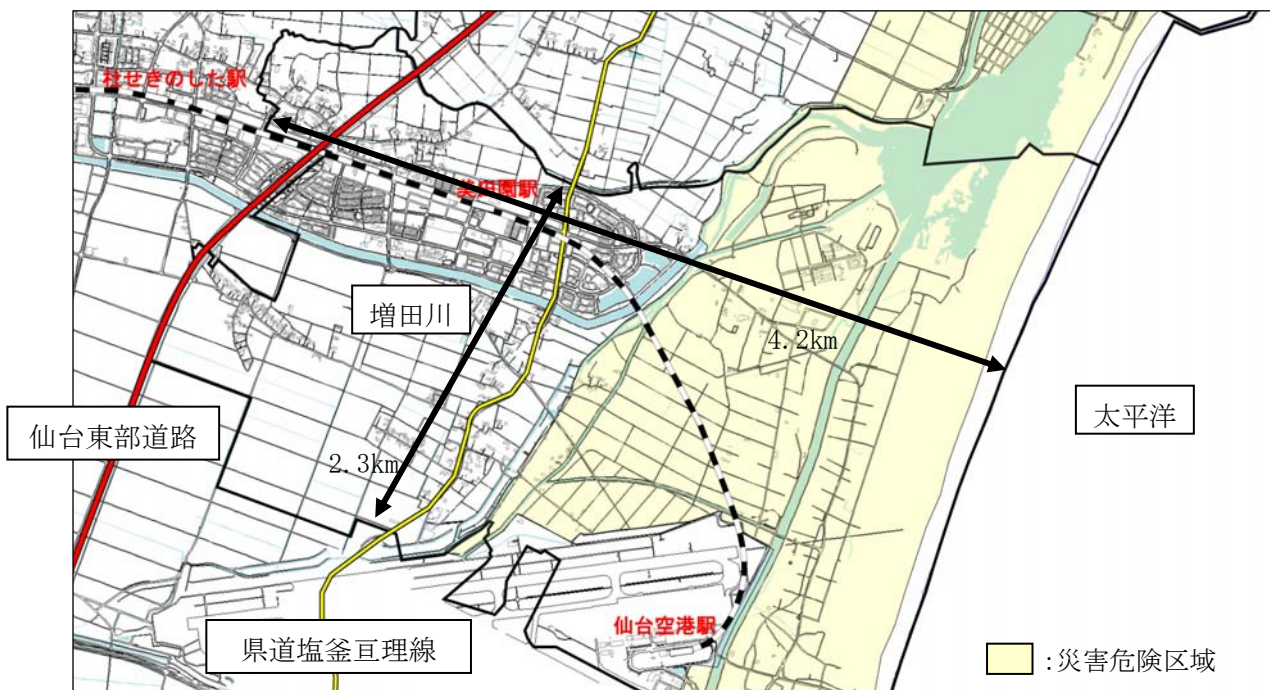
このマニュアルは、町内会長や区長などと作成したもので、下増田地区の防災計画として、地域独自の防災のルールや避難方法を定めたものです。

2 下増田地区について

地形・地勢

- 下増田地区は、面積が 12.25km²、東西に約 3.9～4.4km、南北に約 2.3～3.6km です。
- 東側は太平洋に面し、地区の中央には増田川が流れています。
- **ほとんどが標高 2～3m 程度の低地で、津波や洪水で浸水しやすい地区です。**
- 海に近い地区は災害危険区域であるとともに地震動により液状化する恐れがあります。
- 県道塩釜亘理線は日頃から大型車などの交通量が多くなっています。

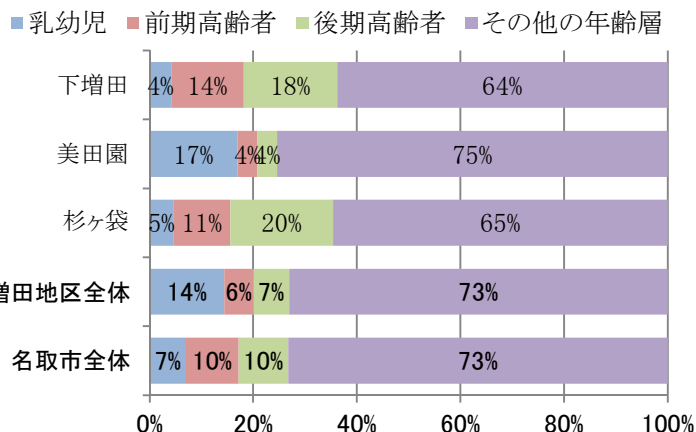
下増田地区の地形・地勢



世帯・人口

- 下増田地区のほとんどは、東日本大震災で被害が大きかった仙台東部道路より海側で、約2千3百世帯、約6千4百人が住んでいます。
- 下増田地区は、新興住宅地である美田園が急速に発展しており、名取市全体と比較すると、**高齢者が少なく、乳幼児が多い状況**です。

下増田地区の年齢層別人口



下増田地区の世帯・人口

大字	世帯数	人口	災害時要援護者となる年齢層別人口			その他年齢層人口
			乳幼児	前期高齢者	後期高齢者	
下増田	247	787	33	110	142	502
美田園	1,841	5,014	851	192	192	3,779
杉ヶ袋	236	558	69	18	15	456
下増田地区全体	2,324	6,359	953	320	349	4,737

資料：名取市住民基本台帳 平成26年1月

3 下増田地区の過去の災害について

下増田地区では、過去、以下のような災害が発生しました。

災害名称及び発生年月日	災害による被害状況
昭和53年6月12日 宮城県沖地震 (仙台市で震度5)	市全体で負傷者200人、全壊17棟、半壊61棟、一部損壊1,623棟の被害
昭和61年8.5豪雨 (累計雨量約400mm)	下増田地区では床上浸水25世帯100人、床下浸水81世帯435人の被害
平成6年9.22集中豪雨 (時間雨量84mm、累計雨量478mm)	下増田地区では床上浸水10世帯30人、床下浸水91世帯326人の被害
平成23年3月11日 東日本大震災 (名取市で震度6強)	下増田地区のほとんどが津波で浸水し、市内で911人が犠牲 県道塩釜亘理線より東側は、浸水が激しく、命の危険が大きい状況 平成23年4月7日の深夜には、 名取市で震度6弱の余震 が発生



下増田地区の津波浸水域（東日本大震災）



9.22集中豪雨による被害状況

4 下増田地区の災害対応計画

想定すべき災害

津波、水害、地震に備える！

- ・過去の災害からわかるように、下増田地区では、地震、津波、水害のそれぞれで大規模災害が発生しています。このような大規模災害は、いつ、どこで、どのような形で発生するかわからないため、日頃から大規模災害の備えが必要です。
- ・下増田地区は、ほとんどが低地で海から近い地区です。また、過去、大きな水害が2回発生していますが、その体験を知らない人が多い状況です。津波や洪水による浸水に備えて、下増田小学校やまなウェルみやぎなど、身近な高い建物を日頃から確認しておきましょう。
- ・特に、県道塩釜亘理線周辺は、東日本大震災では浸水が深く、内陸まで遠いことから、車による避難も含めて避難場所を決めておきましょう。

災害から命を守るために

自分の命は自分で守る！ 率先避難を！

- ・災害が発生したら「名取市民防災マニュアル」と「下増田地区防災マニュアル」に基づいて、まず「自分の命は自分で守る」ように率先避難しましょう。

家族や近所で避難方法を決めておきましょう！

- ・「P9～P10 下増田地区防災マップ」で、危険な場所と安全な場所・経路を確認し、日頃から家族で避難場所・避難経路、安否確認方法、集合場所を確認しておきましょう。
- ・それらの確認内容を「P11 我が家の災害対応計画」に記入しましょう。

下増田地区では、日中の災害時の協力体制が弱いことに注意！

- ・地区外での就業者が多いため、日中に災害が発生した場合の協力体制が必要です。日頃から町内会や隣近所でコミュニケーションをとり合い、災害時要援護者の居住状況などを把握して、町内会や自主防災組織などが連携して対応しましょう。

災害時の対応

地震のときの対応

まず身を守る！ 慌てずに落ち着いて行動！

- ・緊急地震速報や揺れを感じたら身を守り、夜間は、停電になっても慌てずに、怪我をしないように落ち着いて行動しましょう。
- ・宮城県沖地震の教訓から、外にいるときや避難の際はブロック塀など倒れやすいものに気をつけましょう。
- ・阪神淡路大震災の教訓から、通電火災を避けるため、ブレーカーを落としましょう。



揺れを感じたら、津波の有無を確認しましょう！

- ・揺れを感じたら、もしくは警報のモーターサイレンや防災行政無線を聞いたら、ラジオなどで情報を収集しましょう。
 - ・沿岸部で作業する場合、携帯ラジオを持ち歩き、「なとらじ」(FM80.1MHz)などの災害情報を聞きましょう。
- また、携帯電話でエリアメール（NTT ドコモ）や緊急速報メール（KDDI、ソフトバンク）を受信しましょう。
- ・大津波警報や津波警報、予想される津波の高さ、到達時間を確認しましょう。
- また、津波に関する情報は刻々と変わるので、情報収集を継続しましょう。



津波からの避難

大津波警報や津波警報の発表時にとるべき対応！

- ・名取市では、大津波警報などが発表された場合、避難指示・避難勧告を発表します。

	予想される津波の高さ	避難指示・避難勧告についてとるべき避難行動
大津波警報	10m超	・下増田地区の全域に避難指示を発表します。 ・下増田地区の皆さんは、直ちに安全な場所に避難してください。
	10m	
	5m	
津波警報	3m	・仙台東部道路の東側に避難指示を発表します。 ・仙台東部道路より東側の皆さんは、直ちに安全な場所に避難してください。
津波注意報	1m	・海岸や河口付近の人に注意を喚起します。 ・海岸や河口付近に絶対に近づかないようにしてください。

津波避難先は「より高く」「より遠く」！！

- ・下増田地区は、海や川に面した高台のない低地です。長い揺れ、強い揺れを感じたら、すぐに徒歩で近くの下増田小学校や、まなウェルみやぎなどの3階建て以上の建物か、車で内陸へ避難しましょう。



徒歩避難が原則！ 県道塩釜亘理線周辺は車での避難も！

- ・基本は徒歩避難ですが、津波の場合、避難先が遠かったり、災害時要援護者の避難支援が必要な場合、車での避難もやむを得ないと考えます。
- ・ただし、多くの住民が車で内陸方面に避難することが予測されるため、道路が渋滞する可能性があります。車で避難する場合は、周りの状況をよく確認のうえ、できるだけ少ない台数で、仙台東部道路より内陸側へ避難しましょう。また、事前に防災マップで車が混雑しない道路を確認しておきましょう。

海に近づかない！ 自宅に戻らない！ 家族を迎えに行かない！

- ・名取市津波避難アンケートから、地震発生後、一度自宅に戻ったり、家族を迎えに行ったりして、避難が遅れたことが確認されています。津波ではちょっとした避難の遅れが生死の分岐点になることがあるため、家族を迎えに行かなくても良いように、それぞれの避難方法を定めておきましょう。

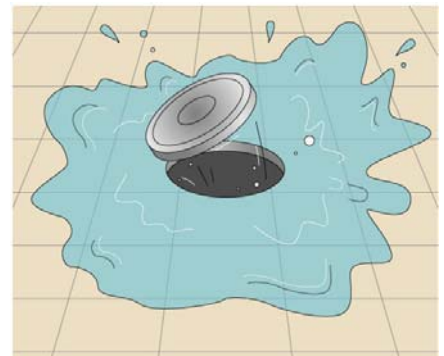
風水害への対応

日頃から気象情報に注意を！ 基本は情報収集！

- ・日頃から天気予報を気にかけて、「今年最大級の台風（寒波）が接近している」などの報道があった場合は、気象情報などを確認しましょう。
- ・台風接近や豪雨の危険性があるときは、無理な外出を控えることが大切です。

浸水時の避難は危険！

- ・浸水により足をとられて流されたり、マンホールの蓋があいたり、路肩が崩壊する可能性があるなど、浸水時の避難は危険です。無理な避難をせずに、自宅の2階に留まるか、近くの下増田小学校や、まなウェルみやぎなどの2階建て以上の建物に避難しましょう。
- ・風水害時、停電や濁り水による断水などが発生する場合があります。懐中電灯、水、食料などの非常持出品や災害備蓄品を持って2階以上の建物に留まりましょう。



5 下増田地区の災害予防計画

みんなで災害予防活動に取り組みましょう。

個人でできること（自助）～自分の命は自分で守る～

転倒防止の実施

- ・直下型地震では、東日本大震災より大きな揺れが来るかもしれません。地震で怪我をしないように、家具の転倒・落下防止対策を実施しておきましょう。
- ・また、昭和56年5月31日以前の建物は耐震診断を受けましょう。名取市では耐震診断の支援を実施しています。



家具等の転倒



木造家屋の倒壊

非常持出品と災害備蓄品の準備

- ・東日本大震災では、物流が止まり、商店がなかなか再開されませんでした。
- ・避難所などにおいても、十分な災害備蓄品を用意できているわけではないので、非常持出品や災害備蓄品を準備しておきましょう。（3日分の食料や水を準備しておきましょう。水は1日1人3ℓが目安。）



防災訓練への参加

- ・自主防災組織や地区で実施する防災訓練に参加しましょう。



避難訓練の状況

災害に関する話し合い

- ・東日本大震災では、携帯電話などが不通になり、事前に連絡方法や集合場所を定めていなかった方は、家族の安否を確認することが大変でした。
- ・避難後に安否確認を行うため、集合場所や連絡方法を決めておきましょう。

自主防災組織・町内会でできること（共助）～自分たちの地域は自分たちで守る～

災害時の役割分担の確認

- ・自主防災組織・町内会の中で、安否確認や避難誘導などの役割分担を確認しましょう。
- ・また、地区内の災害危険箇所を確認しましょう。



防災訓練や啓発の実施

- ・いざというときに落ち着いて行動できるように、避難訓練、消火訓練、応急手当などの防災訓練を実施するとともに、転倒防止などの啓発を行いましょう。

防災資機材の整備

- ・地区集会所などの地域の一時避難場所に食料・水などの物資の備蓄や防災資機材を整備しておきましょう。
- ・津波を伴わない地震の場合は、地区集会所など地域の一時避難場所に避難することも有効です。地区集会所の場所や避難経路を確認しておきましょう。

災害時要援護者への支援

- ・災害時に支援が必要な人を確認し、支援の方法を決めておきましょう。

下増田地区でできること（共助）～地域ぐるみの防災体制をつくる～

自主防災組織・町内会の連絡協議会を設立し、次の防災対策に取り組みましょう。

地区防災計画の作成

- ・下増田地区における防災活動に関する計画を作成

地区防災訓練の実施

- ・下増田小学校や、まなウェルみやぎと連携した津波避難訓練、避難所運営訓練を実施

防災講座、防災研修会の実施

- ・防災講話や防災講座、防災に関する研修を企画
- ・自主防災組織同士の情報交換に努め、自主防災活動のさらなる向上

地区への啓発活動

- ・訓練参加者以外にも防災知識の普及・啓発を図るため、防災に関するチラシ等の配布

避難の段階に応じ、周りの人を思いやり、助けあって避難生活を送りましょう

避難所の開設・避難者の収容 ～避難所に入るとき～

- ・地震など大きな災害が発生した場合、市では職員が建物の安全を確認し、避難スペースを決定します。
- ・避難者は、建物の安全が確認されるまで、なるべく自主防災組織・町内会ごとに建物の外に待機し、職員の指示に従い避難所に入ってくださいようになります。
- ・自主防災組織や町内会の役員を中心に、避難所の設営や避難者の収容について、協力をお願いします。

初期の避難生活 ～避難勧告などが解除されるか、電気・水道の復旧まで～

- ・避難所では、なるべく町内会ごとにまとまり、避難人数を確認し、市に支援の要請を行います。次に避難者名簿を作成します。市からの救援物資が届くまでは、非常持出品などで対応していただくようになります。
- ・自主防災組織や町内会の役員を中心に、職員の指示に従い、次の協力をお願いします。

- ・避難人数の確認、市への支援要請
- ・避難者名簿の作成
- ・簡易トイレの設置、プールからトイレ用の水汲み（断水の場合）
- ・市などからの食料・水、物資の搬入、配布など

長期の避難生活 ～避難生活が長期になる場合～

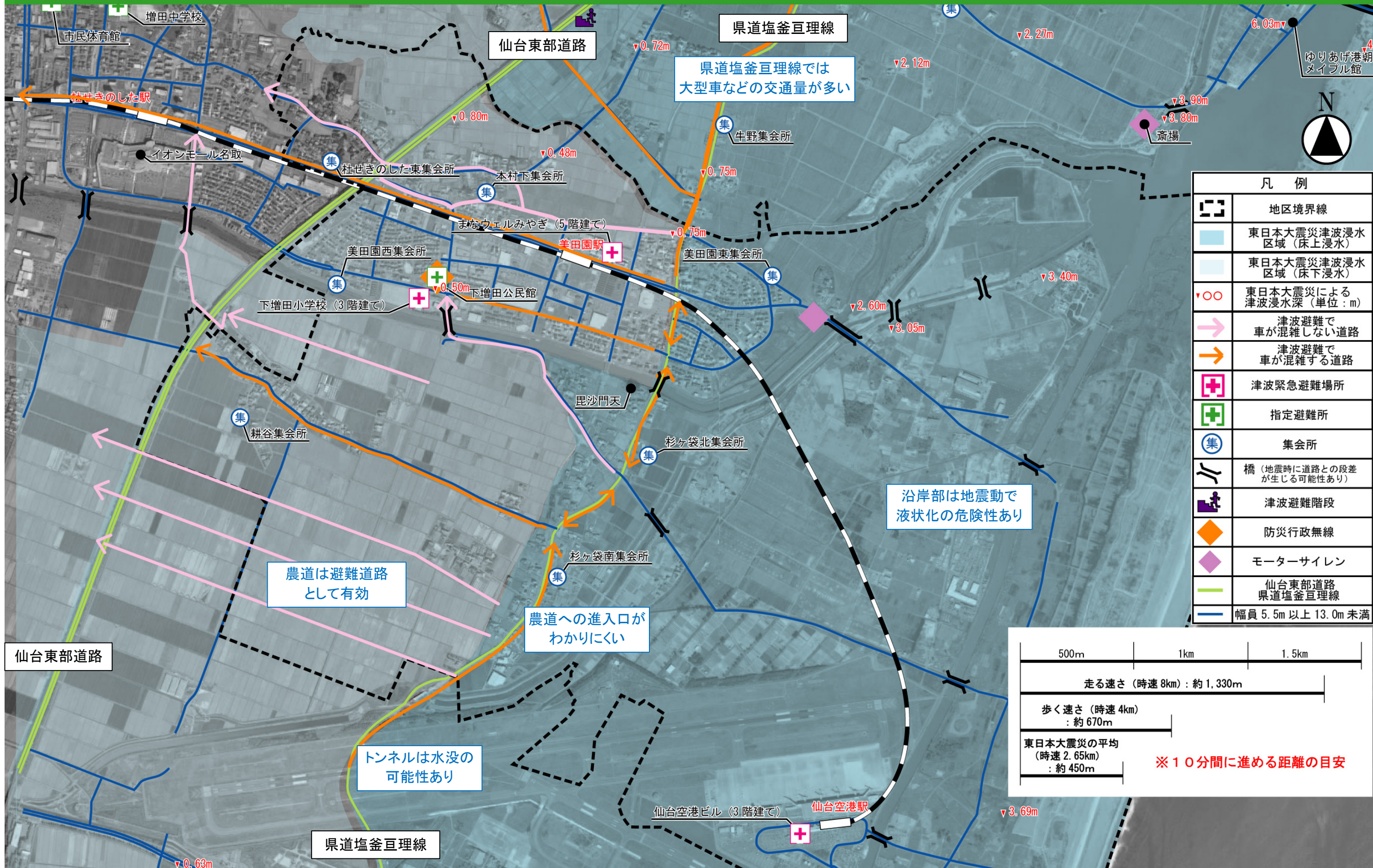
- ・職員の指示に従い、町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を送っていただくようになります。
- ・避難所での役割としては、次のようなものがあります。

- ・避難人数の確認、市への支援要請
- ・食事の用意・配給・洗い物
- ・支援物資の整理・配給
- ・避難所及びトイレの清掃
- ・ゴミの分別・搬送、衛生管理（トイレトペーパーや石鹸の補充など）

- ・避難所では、高齢者や妊産婦などの災害時要援護者を思いやり、女性や子供に配慮して、より良い環境を作りましょう。

【全域図】

下増田地区防災マップ



凡例	
	地区境界線
	東日本大震災津波浸水区域 (床上浸水)
	東日本大震災津波浸水区域 (床下浸水)
	東日本大震災による津波浸水深 (単位: m)
	津波避難で車が混雑しない道路
	津波避難で車が混雑する道路
	津波緊急避難場所
	指定避難所
	集会所
	橋 (地震時に道路との段差が生じる可能性あり)
	津波避難階段
	防災行政無線
	モーターサイレン
	仙台東部道路 県道塩釜亘理線
	幅員 5.5m 以上 13.0m 未満

500m | 1km | 1.5km

走る速さ (時速 8km) : 約 1,330m

歩く速さ (時速 4km) : 約 670m

東日本大震災の平均 (時速 2.65km) : 約 450m

※ 10分間に進める距離の目安

仙台東部道路

農道は避難道路として有効

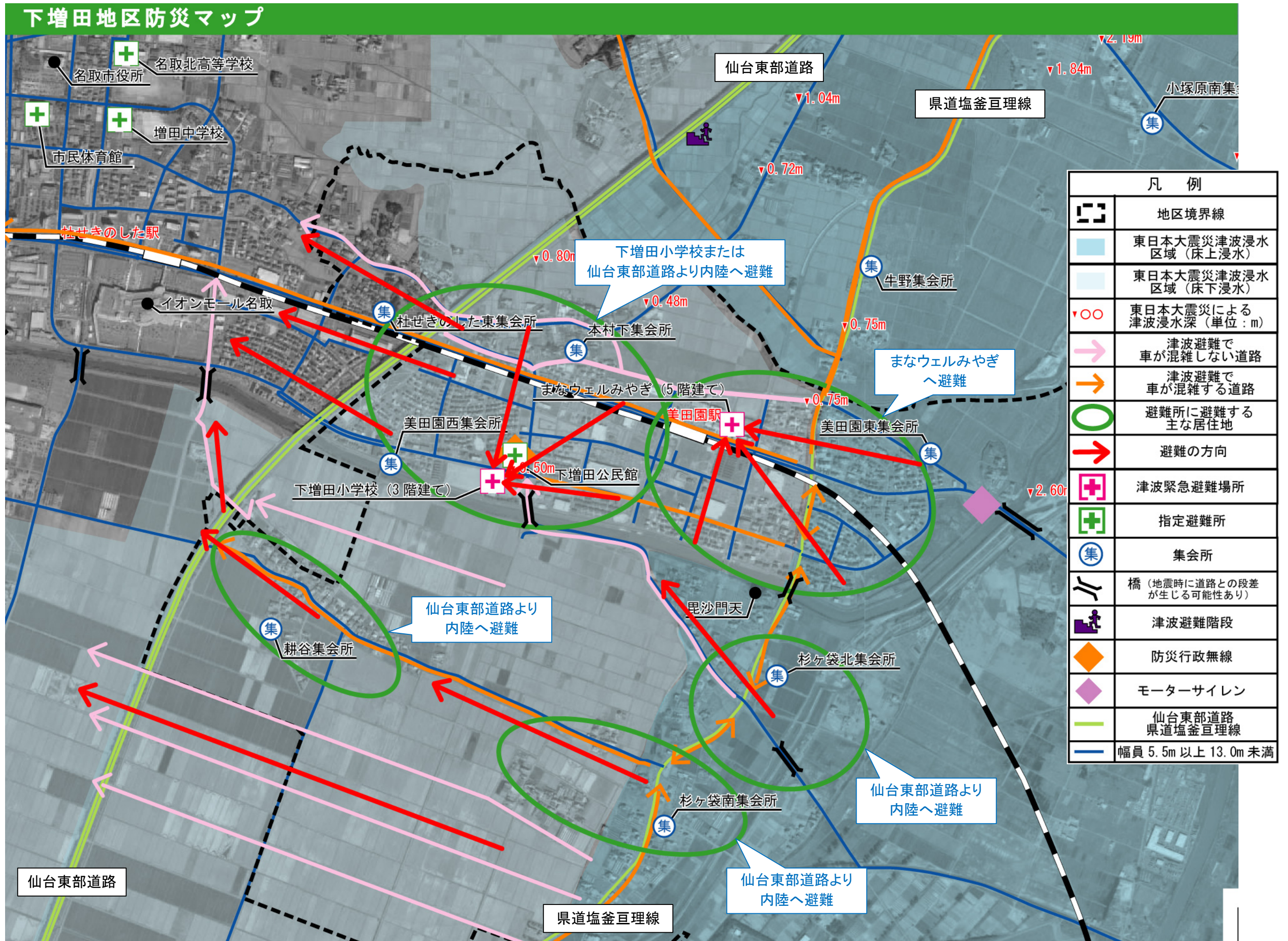
農道への進入口がわかりにくい

トンネルは水没の可能性あり

県道塩釜亘理線

沿岸部は地震動で液状化の危険性あり

県道塩釜亘理線では大型車などの交通量が多い



我が家の災害対応計画

～家族で話し合い、記入しよう～

緊急地震速報や揺れを感じたら、自分の身を守る！

突然、大きな揺れに襲われたらどうしますか？ 落ち着いて対応できますか？	
夜間、地震の最中に突然、真っ暗になったらどうしますか？ 揺れが収まった後、電気がつかなくても大丈夫ですか？	
家族の寝る場所に、固定していない家具はありませんか？ その家具が倒れてきても大丈夫ですか？ 家具の上に落ちてきそうなものを置いていませんか？	

揺れが収まったら、安全と情報を確認する！

慌てて動くと、ガラスの破片などでケガをすることがあります。 近くに厚手のスリッパなどの用意をしていますか？	
出火した場合は、どう対応しますか？ 燃え広がる前は？（火が横に広がっている） 燃え広がった時は？（火が天井に燃え移っている）	
停電の場合、津波警報や津波に関する情報をどうやって入手しますか？	
家の中で防災無線やモーターサイレンは聞こえますか？ 市からの災害情報は「なとらじ（FM 80.1Mhz）」により聞くことができます。	

避難場所と避難方法を考える！

日中は、どこにいますか？ 家族は、どこにいますか？	
津波警報が発令された場合などの、避難方法を考えていますか？	
津波到達まであまり時間がない場合は、どこに、どのように避難しますか？	
道路が渋滞している場合、どこに、どのように避難しますか？	
停電で真っ暗の場合は、どこに、どのように避難しますか？	
大雨等により、浸水が始まっている場合は、どうしますか？	

平常時の備えを確認する！

非常持出品や災害備蓄品の準備は大丈夫ですか？	
東日本大震災ではガソリンが手に入りませんでした。 こまめな給油をしていますか？	
日頃から災害時の対応について話し合い、家族との連絡方法や集合場所を決めていますか？	

下増田地区の避難場所

区分	名称	電話番号
指定避難所	下増田小学校（津波緊急避難場所）	022-382-3227
	下増田公民館	022-382-2335
	増田中学校	022-384-2329
	名取北高等学校	022-382-1261
	市民体育館	022-384-3161
	増田小学校	022-382-2005
津波緊急避難場所	まなウェルみやぎ	022-784-3541
	仙台空港ビル	022-383-4301
地域の 一時避難場所など	本村下集会所	—
	杜せきのした東集会所	—
	美田園西集会所	—
	美田園東集会所	—
	耕谷集会所	—
	杉ヶ袋北集会所	—
	杉ヶ袋南集会所	—
	毘沙門天	—

平成26年3月現在

災害時の連絡先

区分	名称	電話番号
市役所	名取市役所	022-384-2111
警察 110	岩沼警察署	0223-22-4341
消防 119	名取市消防本部	022-382-0242
その他	同和警備株式会社 名取営業所	022-381-1384